

9月18日 マルコによる福音書 12章 27～34節 今日の説教から

説教題：「愛しなさいという掟」

今日の聖書箇所は、正しく生きようとした一人の律法学者がイエス様へ質問をする場面から始まっています。律法には613の掟があり、それぞれが複雑に絡み合って存在していました。その律法のままに生きることが出来ればいいのですが、もはや何をしても掟に引っかかってしまいそうなほどに人々はがんじがらめの掟の中で生活をしていました。そこで、この律法学者は何よりも優先するべき掟とはいったいどれなのかを尋ねました。そこで、イエス様は律法の中で大切な掟を探すのではなく、すべての律法を二つの掟に集約することでその答えとしました。

一つ目が神様への愛で、これは申命記6章4～7節に記されています。「聞け、イスラエルよ。我らの神、主は唯一の主である。あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい」。この言葉を引用することによって、何よりも、全力をもって神様を愛することを求めています。神様を愛するということは、神様の言葉を守ることであり、神様を信頼して、神様に自分のすべてを委ねて、「神様であればなんとかしてくれる」と、全幅の信頼を寄せることです。イエス様が神様に「アッパ、父よ」と、幼子が父親に語り掛ける呼び方によってその信頼を示したように、私たちがすべての業を神様への信頼と神様への愛という土台の上で行うことが求められています。

そして、二つ目の隣人への愛は、レビ記19章に記されている十戒の中で、その最後の18節に記されている「自分自身を愛するように隣人を愛しなさい」という言葉から引用されています。「穀物を収穫するときは、畑の隅まで刈り尽くしてはならない」「ぶどうも、摘み尽くしてはならない。ぶどう畑の落ちた実を拾い集めてはならない」と定められているのは、貧しい人々や寄留者たちがそれを拾い生きることが出来るように、という隣人への愛の為です。そこで示されているように、神様が愛を注いでいるすべての隣人に対して私たちが愛を示すことが求められています。

そしてこれは、「私たち自身への愛」が前提になっていることを忘れてはいけません。私たちは自分を大切にすることを疎かにしていないでしょうか。イエス様が語るように、隣人への愛は「自分への愛」が基準になっています。自分をどこまでも追いつめるような、自分を殺すような生活を続けていると、隣人への愛はその程度を超えることが出来なくなります。それはやがて、「自分はこれだけ苦労しているのに」「我慢しているのに」という不満から、「相手も同じだけ苦労しなければいけない」「我慢しなければいけない」という思考に陥ってしまうのです。自分よりも恵まれている人を見て、自分は愛されていないと不平不満を持ち、嫉妬や誘惑によって暗い思いへと落ちていく。その先に待っているのは神様を第一に考える正しい人生ではなく、誰かの不幸を第一に願うような、神様の言葉に背いた滅びへ向かう歩みなのです。

まず私たちは、神様から豊かに愛を注がれていることを自覚する必要があります。私たち一人一人は罪深き者でありながらも、神様はその罪を拭い去るためにイエス様をこの世に遣わしてくれて、私たちが救いへと導かれるように手を尽くしてくれているのです。その愛を知ることが出来れば、その愛されている自分を愛することが出来れば、同じだけの愛を誰かに与えることが出来ることでしょうか。神様を愛して、神様の言葉に従って、隣人を愛して、隣人と共に神様の言葉の中で歩む。私たちはその豊かな歩みを進めることが出来るのです。

私たちは神さまの愛に満たされながら、誰かを愛しながら歩むことが出来ます。その喜びの中で、今週一週間の、これからの歩みを共に進めていきましょう。

今日の説教箇所：マルコによる福音書 12 章 28～34 節

- 28:彼らの議論を聞いていた一人の律法学者が進み出、イエスが立派にお答えになったのを見て、尋ねた。「あらゆる掟のうちで、どれが第一でしょうか。」イエスはお答えになった。「第一の掟は、これである。『イスラエルよ、聞け、わたしたちの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』第二の掟は、これである。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つにまさる掟はほかにない。」律法学者はイエスに言った。「先生、おっしゃるとおりです。『神は唯一である。ほかに神はない』とおっしゃったのは、本当です。そして、『心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして神を愛し、また隣人を自分のように愛する』ということは、どんな焼き尽くす献げ物やいけにえよりも優れています。」イエスは律法学者が適切な答えをしたのを見て、「あなたは、神の国から遠くない」と言われた。もはや、あえて質問する者はなかった。

#### 十戒

1. あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない
2. 偶像を作ってはならない
3. 神の名をみだりに唱えてはならない
4. 安息日を守りなさい
5. 父母を敬いなさい
6. 殺人をしてはいけない
7. 姦淫をしてはいけない
8. 盗んではいけない
9. 隣人について偽証してはいけない
10. 隣人の家や財産をむさぼってはいけない